

断熱改修に必要な製品数量の計算方法

「使用する製品1枚の体積」、「最低使用量に対する枚数」、「最低使用量に対するケース数」の順番で算出して必要な製品数量を計算します。

計算方法

STEP1 使用する製品1枚の体積 [m³/枚] = 製品厚さ [m] × 製品幅 [m] × 製品長さ [m]

STEP2 最低使用量に対する枚数 [枚] = 最低使用量 [m³] ÷ 製品1枚の体積 [m³/枚]

STEP3 最低使用量に対するケース数 [ケース] = 最低使用量に対する枚数 [枚] ÷ 1ケースあたりの製品入数 [枚/ケース]

各部位ごとの例

外壁の場合

一戸建て住宅の外壁に、断熱材区分Cの製品で、断熱材最低使用量11.0m³以上とする場合に
必要な製品数量を計算してみます。

製品名はハウスロンZERO(HZS) / 製品型番:1PGMHZS105 商品記号:HZS105C28L
(密度16kg/m³、厚さ105mm、幅390mm、長さ2880mm、8枚入り)での計算例です。

STEP1 0.105[m] × 0.39[m] × 2.88[m] = 0.11 [m³/枚]

STEP2 11.0[m³] ÷ 0.11 [m³/枚] = 100 [枚]

STEP3 100 [枚] ÷ 8 [枚] = 12.5 [ケース] < 13 [ケース]



HZS105C28L (8枚入り) を13ケース使用すれば、断熱材最低使用量の11.0m³以上となります。

天井の場合

一戸建て住宅の天井に、断熱材区分Cの製品で、断熱材最低使用量12.0m³以上とする場合に
必要な製品数量を計算してみます。

製品名はハウスロンZERO(HZS) / 製品型番:1PGMHZS155 商品記号:HZS155L13
(密度16kg/m³、厚さ155mm、幅420mm、長さ1370mm、11枚入り)での計算例です。

STEP1 0.155[m] × 0.42[m] × 1.37[m] = 0.089 [m³/枚]

STEP2 12.0[m³] ÷ 0.089 [m³/枚] = 134.8 [枚] < 135 [枚]

STEP3 135 [枚] ÷ 11 [枚] = 12.2 [ケース] < 13 [ケース]



HZS155L13 (11枚入り) を13ケース使用すれば、断熱材最低使用量の12.0m³以上となります。

床の場合

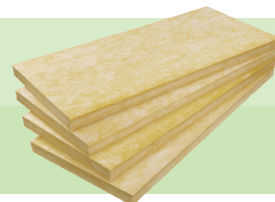
一戸建て住宅の床に、断熱材区分Cの製品で、断熱材最低使用量6.0m³以上とする場合に
必要な製品数量を計算してみます。

製品名は露断プレミアム(RXY系) / 製品型番:1PGMRXY80 商品記号:RXY80Z18Q
(密度32kg/m³、厚さ80mm、幅823mm、長さ1820mm、4枚入り)での計算例です。

STEP1 0.080[m] × 0.823[m] × 1.82[m] = 0.11 [m³/枚]

STEP2 6.0[m³] ÷ 0.11 [m³/枚] = 54.5 [枚] < 55 [枚]

STEP3 55 [枚] ÷ 4 [枚] = 13.75 [ケース] < 14 [ケース]



RXY80Z18Q (4枚入り) を14ケース使用すれば、断熱材最低使用量の6.0m³以上となります。

計算方法がわかれば最低必要量は簡単！
リフォーム後の暖冷房費のランニングコストも考えたら、
補助金の交付と合わせてさらにお得になります！！

